

持経宿・平治宿の巡回整備(薪移管と平治宿の倒木処理他)

◇実施日；2016年08月21日(日) 小雨後時々晴、21℃

◇参加者；玉岡憲明・明、川島 功、児嶋道夫、中前 偉、

生熊敏男・千満子、濱野兼吉、大江加予子、畑林清子

梶野照雄、大門健一(前泊)。 12名。

玉岡・生熊・川島車で熊野川行政局へ向い、中前車に生熊夫妻、濱野氏が分乗し、中前・玉岡・川島車で待合せの池原へ。

池原スポーツ公園で西宮市の大門さん(民宿前泊)と合流し玉岡車に分乗、簡単に自己紹介して池郷林道から持経宿に向け出発。

台風11号が北海道に上陸し、台風9号が関東方面に北上しつつあり、台風10号は四国沖をめざらしく西南西へと進み、その狭間にあつて、予報より悪く雨が続けているらしく林道には落石が多い、それを除去しながら進むが、林道の荒れようは尋常ではない。先頭の川島車に乗った児嶋さんがしよつちゅう車から降り、落石を除去する姿を見ながら申し訳なく思う。

梶野さんから無線(山彦Gの備品)が繋がりに、間もなく下北山とのこと。「いちろは濱野、林道を進んでいきます」と応答。

林道ゲート直前の支谷から砂利が路面に流れ込み、車が立ち往生。全員降りて流れ込んだ石を必死で掻き出し平らにして、何とか車を通し持経宿へ。途中、雨具着用の登山者と出会う。

しばらくして梶野さんが「また、パンクや」と小屋に連絡が入ってくる。これで7回目、今年に入って5回目とのこと。そういえば以前もパンクし、車からジャッキを取り出しタイヤを取替えるのに、手品のごとく手際よくやつてのけた。また、前は玉岡車がパンクをしたし、中前車も新品タイヤをパンクさせたと聞いた。これだけでも池郷林道の道路状況がどんなものか、判ってい

ただけると思う。

9時半前に全員が揃ったところで、お堂に集合し、中前・行者のホラ貝の吹鳴を合図に勤行、本日の作業と峰中安全を祈願する。小雨では毛布が干せず、玉岡憲明、生熊敏男、大江加代子さんに不動堂裏のブルーシートで囲って積んである薪を、薪小屋への移管作業をお願いして、残りの9名が平治宿へ。



池原駐車場で合流



不動堂で勤行



林道切通しから奥駈道へ

下界では猛暑が続く秋を感じることはないが、ここではキノコがあちこちに生えて、一足早い秋の気配が感じられる。

霧雨でやや視界が悪く、雨を想定してカッパを着て歩き始めたが、途中休憩の第37次刈峰行標識の所(P1160m)でカッパを脱ぐ。空は時折雲が切れて青空も顔を出し始める。天気予報は午後からは晴れとのこと。

平治宿小屋には10時40分頃に到着。玉岡明さんは、平治宿には30年ぶりになるとの事である。

川島代表より本日の作業は、小屋裏の倒木処理と水場の整備を行うと指示があり、濱野・大門・玉岡明の3名は、ポリタンクを背負子につけ水場へ下る。水場へのルートは来る度に荒れがひどくなっている。慎重に足元を確認しながら降りる。途中雨が降るためか大きなガマガエルが径の脇と、貯水槽の中に浮いている。



千年松祠前にて



P1160mで小休止



チェンソー倒木処理

水槽の中に流れ込んだ土砂を三人で掻き出す。作業はそれ程労力を要すことなく終了する。

水量が多く水槽にはすぐ水がたまり、澄んでくる。持参したポリタンクに水を入れ小屋へ、水場付近にはホトトギスの白い花が咲き始め、季節は夏から秋にかわりはじめている。



水槽点検



水槽底浚え済



水ポリタンクの荷上げ

児嶋さんは、大枝のブナ倒木を約45cmにチェンソーで小切る。チェンソーの切れが悪い様であり、刃が締め付けられない様に、川島・中前氏が加勢すると共に小枝を鋸で切り薪にする。

小屋内の掃除を終えた女性陣、背負子の留め金の修繕を終えた梶野氏も加わり、小切った丸太と小枝を切った薪を小屋前に運ぶ。

倒木処理班も順調よく仕事が進み、小屋の庭先に小切った丸太が丸く並べられている。薪用に短く切られた倒木は、年輪が細かくびっしり詰んでいて、いかに厳しい環境で育ったかが見て取れる。チェンソーを扱う児嶋さんも切るのが難しそうである。

人が多く順調良く仕事が進み、昼食は切られた薪用の丸太を椅子にして、小屋の中から机を出して飯台に昼食をとる。

気温は21度、峰を渡る風は非常に涼しく肌寒く感じ、陽が恋しくなるくらいである。

いつものように児嶋さんが冷たいコーヒーとお菓子を、下界の猛暑がウソのようなひとときであった。小屋前で平治宿班の記念撮影をすませ持経宿へ戻る。



チェンソー倒木処理



倒木丸太に座り昼食



平治宿班・下山前

太陽光発電の携帯用の充電器に不具合が生じたのか。児嶋・梶野の両氏が調整にかかる。12時40分持経宿に向け出発。

この頃には天気も回復して青空が顔を出す。千年松祠に到着し、作業の無事終了と峰中の安全通過の報告を兼ね勤行。

先月末に供えられたミヤマシキビの葉があまり新しいので、天然物は元気で長持ちすると思っていたら、残留の3人が千年松祠

まで来て、大江さんが新しく取り替えてくれたとのことである。生熊・大江さんは、不動堂裏の薪を練り箱・コンテナを使い薪小屋上段に積み上げ整理してくれたとのことである。本当にお疲れ様でした。

玉岡さん達が千年松祠から戻ると、吉野から奥駆中(深仙宿泊)の若者が濡れた衣服等を囲炉裏で乾かしていた。本日、行仙宿泊して、最終本宮に行くとのこと。若いから出来ることでこの時期の縦走は水の確保を含め、体力的にも大変である。

行仙宿にもストーブがあり、ポリタンの水もあると思われ、衣服を乾かせると無事を祈って送り出す。荷が後に重心があると思ったらザック2個を重ねて担いでいる。バランスが悪いが致しかたない様だ、若い人はと・・・。

また、朝池郷林道を登ってきた老人は、持経宿小屋まで来たがそのまま引き返したようであった。



千年松祠で勤行



持経宿ベンチにて



屋外の薪移管で満杯の薪小屋

不動堂にお供えしたぶどう巨峰や富山の呉羽梨の差し入れがあり豪華なデザートとなり小休止後、14時頃持経宿を下山。

梶野車の取替えたスペアタイヤの空気圧は、少ないがとりあえず池原スポーツ公園駐車場まで移動。この状態では走行無理と判断して公園に車を置く事になる。幸い、西宮市へ帰宅する大門さんの車で堺市に戻り、後日交換タイヤを持って取りに来るとのこと

と(翌日友人に送って貰い無事回収)。池原へ下ると、とにかく蒸し暑い。スポーツ公園で解散しそれぞれ帰路に着く。

行動タイム

新宮6:50↓7:10熊野川町7:20↓8:05池原スポーツ公園8:20↓9:15
持経宿9:40↓10:35平治宿↓水場点検・倒木処理↓11:50昼食11:30
↓平治宿12:40↓13:30持経宿14:00↓14:50池原15:10↓16:20新宮。

(記：濱野。写真：川島・玉岡)